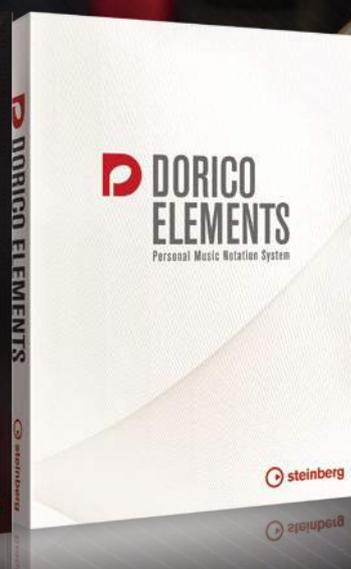


楽譜作成の新しいスタンダード

 **DORICO PRO**
Advanced Music Notation System

 **DORICO ELEMENTS**
Personal Music Notation System



DORICO
THE FUTURE OF SCORING

New Dorico リリース!

直感的な操作と自由度の高い編集が可能な楽譜作成ソフトDoricoがバージョン2にアップデート。大編成のアンサンブルで活用されるDivisi(ディヴィジ)や代わりにフレーズや装飾音の解説などを記譜するOssia(オッシア)をはじめ、ジャズやポピュラーミュージックで多用されるリズムスラッシュや小節リピート記号の表記など、様々なジャンルやシチュエーションに対応しています。さらに、リピート記号や括弧に再生を追従させるリピート再生機能やビデオとの同期再生機能も装備。楽譜印刷だけで無く、ミュージックプロダクションのあらゆる場面で活用できる新時代の楽譜作成ソフトです。

DORICO PRO 2

Dorico Proは楽譜作成における自由度を極限まで高めたDoricoの上位モデルです。

♯や♭などの微分音表記やディヴィジ、オッシアへの対応をはじめ、プリセットに無い演奏記号を自由にカスタマイズすることが可能なため、あらゆる演奏記号を楽譜に反映させることが可能です。さらに演奏表現を再生時に反映させるオートメーション編集機能も搭載。表記と再生をリンクさせながらプロダクションを進めることが可能です。Dorico Proでは、再生用の音源としてHALion Sonic SEに加えてHALion Symphonic Orchestraも付属しており、2000以上(8GBライブラリー)の音色を使用して表現力豊かな再生が可能です。また、楽譜作成ソフトに特化したサードパーティー音源"NotePerformer 3"にも対応。演奏記号に対応したフレキシブルな再生が可能です。



通常版

オープンブライ
JAN : 4018271470725

アカデミック版

オープンブライ
JAN : 4018271470732

通常版 **クロスグレード**

オープンブライ
JAN : 4018271470749

アカデミック版 **クロスグレード**

オープンブライ
JAN : 4018271470756



DORICO ELEMENTS 2

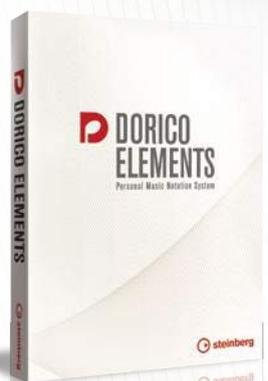


通常版

オープンブライ
JAN : 4018271470763

アカデミック版

オープンブライ
JAN : 4018271470770



Doricoの優れた楽譜作成機能を低価格かつライトに使用していただくため、Dorico Elementsを用意しました。ドラム譜の作成やコード記号への対応、リピート再生機能といった基本機能はそのままに、入門用として導入しやすいバージョンです。もちろんDorico Proへのアップグレードプランも用意しています。

表記関連

柔軟な拍子記号表記

通常の拍子記号表記に加え、大括弧ごとにより大きな拍子を記載したり、組段の上部に表記したりすることができるようになりました。さらに表示フォントも4種類のスタイルから選択可能です。



リズムスラッシュ

おおまかなリズムのキメを表記したり、教本などでリズムを表記したりするのに使われるリズムスラッシュの記譜が可能になりました。



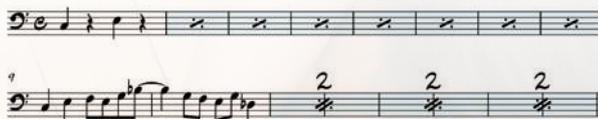
Divisi (ディヴィジ) と Ossia (オッシア)

ストリングスセクションなどで、同じパートの演奏者が声部を分けて演奏するDivisi (ディヴィジ) に対応。また譜表の上や下に代替フレーズや装飾音のガイドフレーズなどを記譜することが可能なOssia (オッシア) 機能も搭載しました。



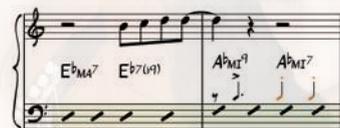
小節リピート記号に対応

同じフレーズを数小節繰り返す際などに使用される小節リピート記号に対応。記譜スタイルも自由にカスタマイズ可能です。



手書き風フォントの搭載

ジャズの楽譜などでよく使用される、手書き風フォント "Petaluma" を新たに搭載。写譜ペンで書いたような楽譜を作成することが可能です。



編集機能

システムトラック

小節管理を簡単に行うことができるシステムトラックを新たに搭載。該当小節をクリック一つで削除したり、コピーしたりすることが可能です。



演奏記号を編集可能

様々な演奏記号をテキストやグラフィックで自由にカスタマイズすることができます。プリセットに無い演奏記号を新しく追加することもできますので、特殊な奏法の楽譜を作成することが可能です。



形式を選択して貼り付け

複数段の楽譜を一気に一段の複数声部楽譜にして貼り付けたり、合唱の1段譜を数段のパート譜として貼り付けたりするなど、様々な形式を指定して貼り付ける機能を搭載しました。

再生機能

繰り返し再生に対応

リピート記号や1括弧、2括弧など、記譜の繰り返し記号に追従して再生する機能を搭載。楽譜の構成確認にも便利です。



ビデオとの連携

ビデオファイルをインポートして楽譜と同期再生する機能を搭載。ビデオウィンドウ上で映像を確認しながらスコアを編集することが可能になりました。また、タイムコード表記可能なマーカー機能も搭載。マーカー位置をドラッグするだけで最適な直前のテンポ値を自動計算する機能なども装備しています。

オートメーション

再生モードにオートメーション機能を追加。テンポのグラフィカルな編集に加え、MIDIコントロールチェンジを使用して再生時の抑揚再現を完璧にコントロールすることが可能です。



NotePerformer 3※ 対応

楽譜作成ソフトウェアに特化したバーチャル音源、Wallander InstrumentsのNotePerformer※に対応しました。Doricoの演奏表記に合わせて表現力豊かな音源再生が可能になります。

※ NotePerformerは別売のバーチャル音源ソフトウェアです。詳細は<https://www.noteperformer.com/> をご参照ください。

Doricoの5つのモード



Doricoは設定、記譜、浄書、再生、印刷という機能ごとの5つのモードから成り立っています。※ Elements には浄書モードがありません。機能を明確にして画面やパレットを切り替えることにより、目的の操作に素早くアクセスできるほか、コンピューターの画面を効率的に使用することが可能です。



設定モード

フローの管理と、楽譜の骨組みとなるパートやレイアウトを決定するのが設定モードです。新規プロジェクト作成時はソロプレーヤー、セクションプレーヤー、アンサンブルプレーヤーのいずれかを一つ以上追加して始めます。アシスタンスに従って好みの楽器をクリックしていくだけで、音部記号、移調設定、再生音源の設定などをDoricoが自動的に行います。

パートの選択

レイアウトの選択



フローの選択

入力する音符や休符の設定

記譜モード

記譜モードは実際に音符を入力したり、小節管理や調号の設定、演奏記号の入力などをおこなったりするモードです。はじめに右側パレットから拍子や調、テンポなどを挿入し、テンキーを使って音価を選択したら、パソコンのキーボードにある[C][D][E][F][G][A][B]のキーで音符を入力していくというのが基本的な流れです。リピートマークや強弱記号、演奏記号も該当箇所を選択して右側パレットから選ぶだけ。まさに直感的に入力が可能です。編集時に移調表記と実音表記を瞬時に切り替えることが可能ですので、in Cの楽譜にしか慣れていない方でも簡単に移調楽譜を作成できます。また、右上の再生ボタンを押せば、音を出して確認することも可能。歌詞やコードネームの入力など、楽譜に必要な様々な要素をすべて編集することができます。



拍子、テンポ、強弱記号、演奏記号などのパレット

Dorico独自の「フロー」



Doricoでは、独自の「フロー」という考え方を導入。同じプロジェクトの中で、第一楽章(フロー 1)、第二楽章(フロー 2)といった複数の別楽曲をまとめて管理することが可能です。

フルスコアとパート譜を一括管理

フローごとにパート数、拍子、調などを自由に設定できるほか、編集もフルスコアとパート譜のどちらからでも行えます。また、印刷(表示)レイアウトごとに表示させるパートを選択することも可能ですので、部分的なアンサンブル楽譜を作成することも可能です。



アシスタンスで簡単にパートを追加



楽器を選択するだけで移調設定も可能

Doricoの設定モードは非常にシンプルかつわかりやすいレイアウトになっており、左側はプロジェクトで実際に使用しているパートの管理で、楽器の設定や打楽器を五線譜のどの位置に表示するかなどの設定が行えます。右側は表示または印刷で使用したいレイアウトの管理、下側ではフローの管理ができるようになっており、上部のプルダウンメニューでは、中央に表示させるレイアウト(右側で作成したものを)を選択できるようになっています。



フルスコアとパート譜を切り替え可能



打楽器マップの設定画面

浄書モード (Dorico Proのみ)

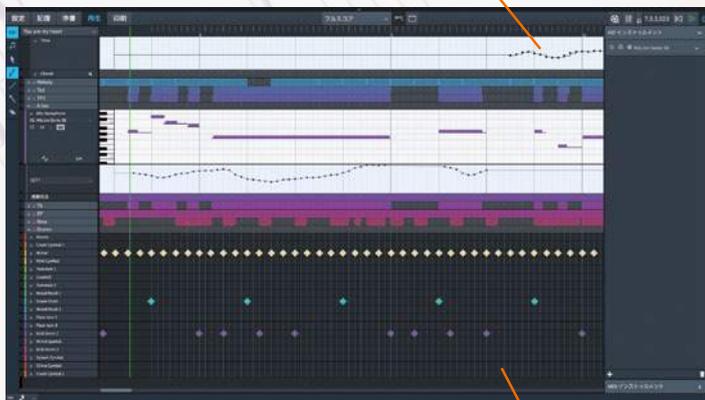
浄書モードは印刷時のレイアウトを編集するモードです。タイトル、作曲者などの情報入力や、マージン、余白といった細かい設定をパート譜、フルスコアといったレイアウトごとに調整できます。ページ内にグラフィックやテキストを配置できますので、バンドやプロモーターのロゴを入れた楽譜を作成することも可能。さらにこれらをマスターページとして登録すれば、常に同じロゴ入りの楽譜を作成できるなど、DTPソフト並みの編集機能が備わっています。また、同じページ内に別のフローの楽譜を配置することも可能ですので、教本や、音楽の授業で使用するテスト制作など、テキストと楽譜が混在する書面を容易に作成できます。



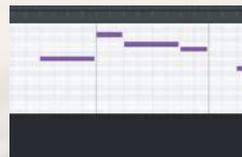
再生モード

テンポもグラフィカルにコントロール

段の間隔も自由に設定可能



再生モードはDoricoに入力した楽譜データをVSTインストルメントで再生するための様々な設定や編集を行うモードです。一般的なDAWのピアノロールウィンドウをベースにしたユーザーインターフェースですが、左上のボタンを切り替えることで、楽譜上の音符の長さ、実際に演奏する音の長さを個別に設定することができるというのがDoricoの優れている点です。



記譜の音の長さ



演奏の音の長さ

パーカッションデータ用の編集画面も装備

Doricoには高音質のVSTインストルメント"HALion Sonic SE"が標準装備されているほか、Dorico Proには"HALion Symphonic Orchestra"も付属。エクスプレッションマップを使用すれば、演奏記号に合わせてPizzicatoなどの奏法変化を再生に反映できます。



HALion Sonic SE



HALion Symphonic Orchestra

印刷モード

印刷モードは作成した楽譜を印刷したりグラフィックデータとして保存したりするためのモードです。両面印刷や冊子印刷をはじめ、PDF、PNG、SVG、TIFFといった様々なファイル形式への出力も可能です。浄書モードで作成したレイアウトに基づき、フルスコア、パート譜など、様々な楽譜を出力できます。



レイアウトの選択

印刷がグラフィックファイルに書き出しかを選択可能

DORICO ELEMENTS

DORICO PRO

記譜		
臨時記号	標準、ダブル	標準、ダブル、微分音、カスタム
音部記号	7 プリセット	26 プリセット
調号	最大 7 フラット/シャープ	フルカスタマイズ可能
音符 / 休符のカスタムグループリング		●
括弧のカスタマイズ		●
コード記号	1 プリセット	9 プリセット、カスタマイズ可能
キュー		●
ディヴィジ/オssia		●
ドラム譜/リズムスラッシュ	●	●
強弱記号/装飾音符/歌詞	●	●
肩状連符、ステムレット		●
符頭	30 プリセット	30 プリセット、フルカスタマイズ可能
オクターブ線	限定	フルカスタマイズ可能
楽器毎の譜表の数の変更		●
ページ番号	自動	カスタマイズ可能
ペダル記号	限定	フルカスタマイズ可能
奏法	220 プリセット	カスタマイズ可能
リハーサルマーク	限定対応	カスタマイズ可能
再生		
内蔵音色	1500 (2GB ライブラリー)	2000以上 (8GB ライブラリー)
エフェクト	30	30
General MIDI 対応	●	●
HALion Sonic SE	●	●
HALion Symphonic Orchestra		●
VST エクスプレッションマップ	●	●
サードパーティ VST 対応	●	●
NotePerformer 3 対応	●	●
記譜の解釈	固定	カスタマイズ可能
リピートの再生/強弱記号の再生/テンポチェンジの再生	●	●
オートメーションデータの編集	●	●
浄書		
ページや組段切り替えの追加	●	●
専用の浄書モード		●
縦間隔の編集		●
リズムミクシンの編集		●
音楽フォント		●
複数の譜表サイズを混合	●	●
音符間隔の設定	限定	フルカスタマイズ可能
譜表、組段の間隔	自動	フルカスタマイズ可能
記譜と編集		
挿入モード	●	●
複数ペースト	●	●
リデュースとエクスプロード		●
声部への貼り付け		●
フィルタリング	限定	フル
読み込みと書き出し		
MusicXML	読み込み/書き出し	読み込み/書き出し
オーディオ書き出し (WAV, MP3)	●	●
画像書き出し	●	●
MIDIファイル	読み込み/書き出し	読み込み/書き出し
印刷		
複数コピーの印刷	●	●
冊子 / 見開き / 2ページを集約	●	●
動作環境		
OS	MAC : OS X El Capitan (10.11) / macOS Sierra (10.12) / macOS High Sierra (10.13) Windows : Windows 10 (64ビット版のみ)	
CPU	64ビット Intel / AMD マルチコアプロセッサ (Intel i5 以上推奨)	
RAM	8 GB (最低 4 GB)	
ディスク空き容量	6 GB 以上 (SSD 推奨)	12 GB 以上 (SSD 推奨)
推奨ディスプレイ解像度	1920 x 1280 以上 (最低 1366 x 768 以上)	
プロテクト	Soft e-Licenser	USB-eLicenser (要USB端子)
その他	OS 対応オーディオデバイス (ASIO 対応デバイス推奨) インターネット環境: インストール、ライセンスアクティベーション、ユーザー登録等 * インストール時にアプリケーションや関連データ等のダウンロードが必要です * 高速ブロードバンドインターネット環境を推奨いたします	

Dorico のサポートについて

Dorico の操作に関するお問い合わせは、WEB フォームから承ります。電話でのサポート窓口はございません。具体的な作品の表現方法につきましては、サポートの範囲外となります。インストールなどの初期設定についてのご疑問に関しましては、よくあるお問い合わせ - Q&A をご参照ください。サポートをご利用いただくためには、株式会社ヤマハミュージックジャパンが輸入・販売した製品をご購入され、MySteinberg にユーザー登録を行っていただく必要があります。

MySteinberg について

Steinberg へのユーザーアカウント登録、製品登録や管理を行うための Web を使ったシステムです。お問い合わせにはユーザー登録が必要です。また、製品購入前のお客様もアカウント登録をして E メールニュースをご購読いただくことが可能です。 <https://www.steinberg.net/jp/mysteinberg.html>

Dorico 製品版同様の機能を、30日間無償でお試しいただける体験版をご用意しています。

https://www.steinberg.net/jp/products/steinberg_trial_versionen/dorico.html

ヤマハミュージックジャパンでのお問い合わせ対応やバージョンアップ 販売などのサービスは、ヤマハが輸入・販売した製品に同梱のライセンスコードでユーザー登録された方に限ります。なお、日本国内から Steinberg Online Shop へアクセスして購入された製品もサポート対象です。ただし、Steinberg Online Shop にてバージョンアップ版を購入された場合、その元となる製品がヤマハが輸入・販売した製品である必要があります。製品をお求めになる際やお問い合わせの際は、ご注意ください。よろしくお願いいたします。

* 機能限定・簡易サポート対象バンドル専用ソフトウェアについては、ソフトウェアのインストール、アクティベーション、バンドルされているハードウェアとの初期設定など、ご購入から使い始めまでの簡易サポートのみ行っております。あらかじめご了承ください。

* 記載の製品名、会社名及びロゴ等は各社の商標もしくは登録商標です。* 使用前に付属のマニュアルをよくお読みの上、ご使用ください。
* 掲載製品の最新 OS への対応状況や動作環境、各種アップデートなどは、<http://japan.steinberg.net/>にてご確認ください。

* 仕様/デザイン/価格等は予告なく変更することがあります。

輸入・販売元

株式会社ヤマハミュージックジャパン

Steinberg WEB 日本語サイト <http://japan.steinberg.net/>

2018年7月作成 カタログコード -DE2337